

《編集・発行》

相模原市農業委員会
相模原市中央区中央2丁目11番15号
Tel 042-769-8292 (直通)

農業のうごき



Cafe Restaurant Shu

「農」を楽しむ、食べる
農家レストラン

地産地消

藤野倶楽部 百笑の台所

豊かな自然が残る相模原からは様々な地場農畜産物が生まれ、それらは直売所や朝市、イベントなどでも購入できることから、多くの市民の方に親しまれています。地域で生産された作物を、その地域で消費することを「地産地消」といいますが、市内には、地元や自家農園で収穫した野菜を料理として提供する農家レストランがあります。農家レストランには、体験農園を行っているところもあり、地域の農家がどのように作業をしているのか、野菜が畑でどのように育ち、そして食べられているのか理解でき、食の大切さや営みを感じることができます。また、「農」に関すること以外にも、レストランの機能を生かしたイベントで交流の場をつくるなど、地域振興の役割も果たしています。

今回は藤野地区にある2軒の農家レストランを訪問してみました。ぜひ、皆さんも地産地消の魅力を体感し、地元の野菜と話題で食卓を彩ってみませんか。

澄んだ空気と緑に包まれた農家レストラン



藤野の山並みや自然が残る閑静な住宅街の中に、Cafe Restaurant Shuはあります。オーナーである森久保周一さんと和子さん夫婦がお店をオープンしたのは、周一さんが定年退職を迎えてすぐのことだったそうです。「旧藤野町の職員として勤務していた頃、在住の人や移住してきた人のために、芸術家とのイベントを企画してもなかなか交流の場が出来なかったため、たくさんの人がお茶を飲みながら交流できる空間を作りたい。」という思いから開店した森久保さん夫婦。

地産地消

Cafe Restaurant Shuでは、お店の前に広大な畑があり、ここで栽培された野菜が料理に数多く取り入れられています。有機栽培にこだわり、旬の野菜を使ったサラダやパスタなどがメニューとして並んでいます。また、店頭では野菜の販売も行っていて、新鮮で、採れたての時にしか味わえない風味の魅力から、多くのお客さんから好評を得ています。テラス席では目の前の畑と澄んだ空気の中、四季折々姿を変える風景が楽しめ、より美味しくいただけます。また、時には、近所の農家さんから野菜を頂くこともあり、その日限りのメニューが提供されています。

地域の魅力と人の交流が織りなす空間

料理を楽しむ以外にも、ライブやアーティストによるイベントも楽しめるお店です。藤野ならではの自然の雰囲気にしみながら、来てくれたお客さん、アーティスト、そしてお店を営む森久保さん夫婦の3者が楽しめる空間を目指して、自ら企画・運営を手掛け「わくわくする、楽しい。」という声をいただきながら、交流の場も広がっているそうです。

また、藤野はアクセスの良さもあり、市内だけでなく、関東近辺からもお客さんが訪れていて、自然と地域風情がもたらす雰囲気と、人と人との交流の場がCafe Restaurant Shuにはあります。

皆さんも、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。



春野菜のべべロンチーノ



Cafe Restaurant Shu

住所：252-0185 相模原市緑区日連981
電話番号：042-687-2333
営業時間：午前11時30分～午後3時 (L.O午後2時30分)
ティータイム (土日・祝日のみ)
午後3時～午後5時30分
ナイトタイム
午後5時30分～午後9時 (L.O午後8時30分)
定休日：月・火曜日 (祝日の場合は営業)



百笑の台所 (藤野倶楽部)

住所：252-0186 相模原市緑区牧野4611-1
電話番号：042-689-6105
営業時間：午前11時～午後4時
定休日：水曜日

都会の方に農業を知ってもらいたい

元々、歯科技工士として働いていた、藤野倶楽部代表の桑原敏勝さん。藤野在住の芸術家と仲良くなったことや、多忙で体を壊したことをきっかけに、残りの人生でやりたいことは何かと思い「オーガニックの食べ物に興味があったし、持続可能な生活をしたい」という考えが浮かび、農業を始めたといいます。しかし、農業の規模を大きくしたいと思って中山間地域では限界があったため、ここで自分ができることは「都会の方々に農業を理解していただくこと」だと決意して、現在の藤野倶楽部を立ち上げ、今では多くの方々に親しまれながら、農業の魅力を発信し続けています。

「農」への理解を深める取り組み

藤野倶楽部にある「百笑の台所」では、運営する安心農園で収穫された野菜を使用していることから、都内各地から多くの方が訪れています。また、地元農家を中心に出店するピオ市野菜市を開催し、地域住民の方以外にも都内から訪れる方が多く、新鮮で美味しい野菜を知っていただく機会となっています。6次産業化による加工品の販売が進んでいますが、農業を理解してもらおうことを目標としている桑原さんは、藤野の課題を見出し共有することを目的として、藤野倶楽部に多くの企業を集めてクリエイティブキャンプを開催するなど、百笑の台所の料理を食べながら「農」への理解を深めてもらう取り組みを行っています。

藤野だから出来ること、将来の抱負

都心から約1時間のアクセスの良さと山並みがあり、自然豊かな環境が残る藤野のポテンシャルとともに、藤野のまちづくりや農業を楽しんでいきたいという



石焼野菜ピピンバ

桑原さん。「国内の農業自給率が低いという課題があるため、都内から訪れた人に安心農園で農業を体験していただき、これをきっかけに一人でも多くの方が農業をはじめ、徐々に農業自給率が上がっていったらうれしいですね。」と真剣な眼差しと笑顔で話していました。

皆さんも、「農」を体験しに藤野倶楽部を訪れてみてはいかがでしょうか。



桑原 敏勝さん

市内農地の賃借料情報

昨年1月から12月までに締結された賃貸借における賃借料水準(10アール当たり)は、次のとおりです。

(賃借料：円/年/10アール)

田(水稲)	地 域	平均額	最高額	最低額	データ数
	相模原市全域	—	—	—	—

※データが公表すべき基準(5件)に満たない。

(賃借料：円/年/10アール)

畑(普通畑)	地 域	平均額	最高額	最低額	データ数
	相模原市全域	12,300	23,600	4,700	41

〈注意〉この賃借料は目安ですので、実際に契約を締結する時は、契約当事者間で十分に話し合ってください。

～平成31年度～ 相模原市農業委員会総会開催予定

	日 程	会 場		日 程	会 場
第1回	4月 1日(月)	市民会館3階第1大会議室	第8回	10月31日(木)	市役所第2別館3階第3委員会室
第2回	4月25日(木)	市民会館4階第3中会議室	第9回	11月29日(金)	未定
第3回	5月31日(金)	市民会館2階第2中会議室	第10回	12月26日(木)	市役所第2別館3階第3委員会室
第4回	7月 1日(月)	市役所第2別館3階第3委員会室	第11回	1月31日(金)	未定
第5回	7月31日(水)	市役所第2別館3階第3委員会室	第12回	2月28日(金)	未定
第6回	8月30日(金)	未定	第13回	3月30日(月)	未定
第7回	10月 1日(火)	未定			

※総会は原則午後1時30分から開催します。(4月1日は、午前9時20分から開催)

※日程等は変更になる場合がありますので、農業委員会事務局にご確認ください。

平成30年度 農政活動協力金集計結果

募金総額 1,456,200円

皆様のご協力ありがとうございました

昨年11月から12月にかけてご協力いただいた「神奈川県農業会議農政活動協力金」の募金について、集計結果を報告します。
この募金は、県内の農業振興と農業者の経営向上のための農政活動等の資金として活用されます。



平成31年度相模原市農地等の利用の最適化の推進に関する意見等に対する回答説明会

2月4日に、昨年9月12日に市長に提出した「平成30年度相模原市農地等の利用の最適化の推進に関する意見」等(農業のうごき「第34号」)に対する回答説明会が行われました。当日は、市から、提出された意見・要望に対する回答とともに、要望を受け実施した地産地消の推進のための施策の検討のために農業まつりで行ったアンケート調査の結果報告がありました。

農業委員会の各委員が、地域の実情を踏まえた質問や意見を投げかけるなど、地産地消の推進や特産品の必要性などの課題について情報が共有されました。

回答の詳細については、市ホームページに掲載しています。

意 見

1 遊休農地の発生防止・解消について

- 鳥獣被害防止計画を実態に即した具体的な計画とすることについては、現在、農業者や津久井地域のまちづくり会議、猟友会等の関係機関の意見を聴きながら効果的な対策の検討を行っており、計画策定後の進捗状況については、区民会議やまちづくり会議等を通じて、情報提供を行っていく。
- 鳥獣による農作物被害に関する総合的な対応と対策を行う窓口の設置については、現在ももっとも適切と考えている所属が対応しており、定期的な情報交換と更なる連携を図り、皆様の利便性の向上に努める。
- 県二ホンザル管理計画に基づく事業の確実な実施については、被害状況を踏まえた防護対策や追い上げ、追払いを実施するとともに、県境をまたぐ個体群については、定期的に隣接都県市と対策会議を開催しているが、より総合的かつ統一した対策が実施できるよう、県を通じて要望していく。

2 担い手への農地の集積・集約化について

- 策定中の相模原農業振興地域整備計画への目指すべき方向の明示と圃場整備については、各地域の特性に応じた農業振興の基本方向を示すとともに、改定後は計画に基づく施策を推進していく。
- 大日野原圃場の進入路の危険箇所の洗い出しと整備の着手については、本年度、調査業務の委託により工法の検討や事業費の算定を行っており、事業の実施時期等が決まり次第、皆様にお知らせしたい。

3 新規参入の促進について

- 新規参入者の定着のための生活環境の整備と支援については、現在の所得支援や情報提供に加え、今後も地域の農業者や推進委員と連携しながら支援していきたい。
- 新規参入者への支援の充実については、多様な営農形態に対する相談の受け付け関係機関と連携した支援を行っている。また、新規就農者情報交換会の開催により、農業者同士や関係機関との情報共有・つながり作りの場を提供していきたい。

要 望

1 地産地消の推進による販路拡大について

- 販路拡大につながる地産地消の推進のための施策の検討については、11月の農業まつりで市内農畜産物の購入機会や購入場所、印象などについてアンケート調査を行った。この調査結果に基づき、地産地消を推進するための施策を検討し、関係機関等と連携しながら、地産地消の推進を図っていく。

2 生産緑地制度について

- 特定生産緑地制度については、市ホームページ及び農協機関紙等へ記事を掲載し、農地所有者に個別通知で制度周知と意向確認アンケートを行うことを検討している。
- 生産緑地貸借制度については、平成30年度中に市広報や農協機関紙等を通して、制度の概要や市農政課が窓口を行うことについて周知することを検討している。また、建築規制の緩和については、特定生産緑地制度と生産緑地貸借制度と併せて情報提供を行うことを検討している。

農業委員会では、毎年県や市へ農業に関する意見、要望を提出していますので、各地区の農業委員、農地利用最適化推進委員又は農業委員会事務局へ皆様の意見をお寄せください。

「農業のうごき」が市ホームページでも閲覧できます

より多くの方に市内の農業に関する情報をご覧いただけるよう、「農業のうごき」を市ホームページに掲載しました。